

# 環境設定

 BRICSCAD V21



第14版

ひろぎん IT ソリューションズ株式会社

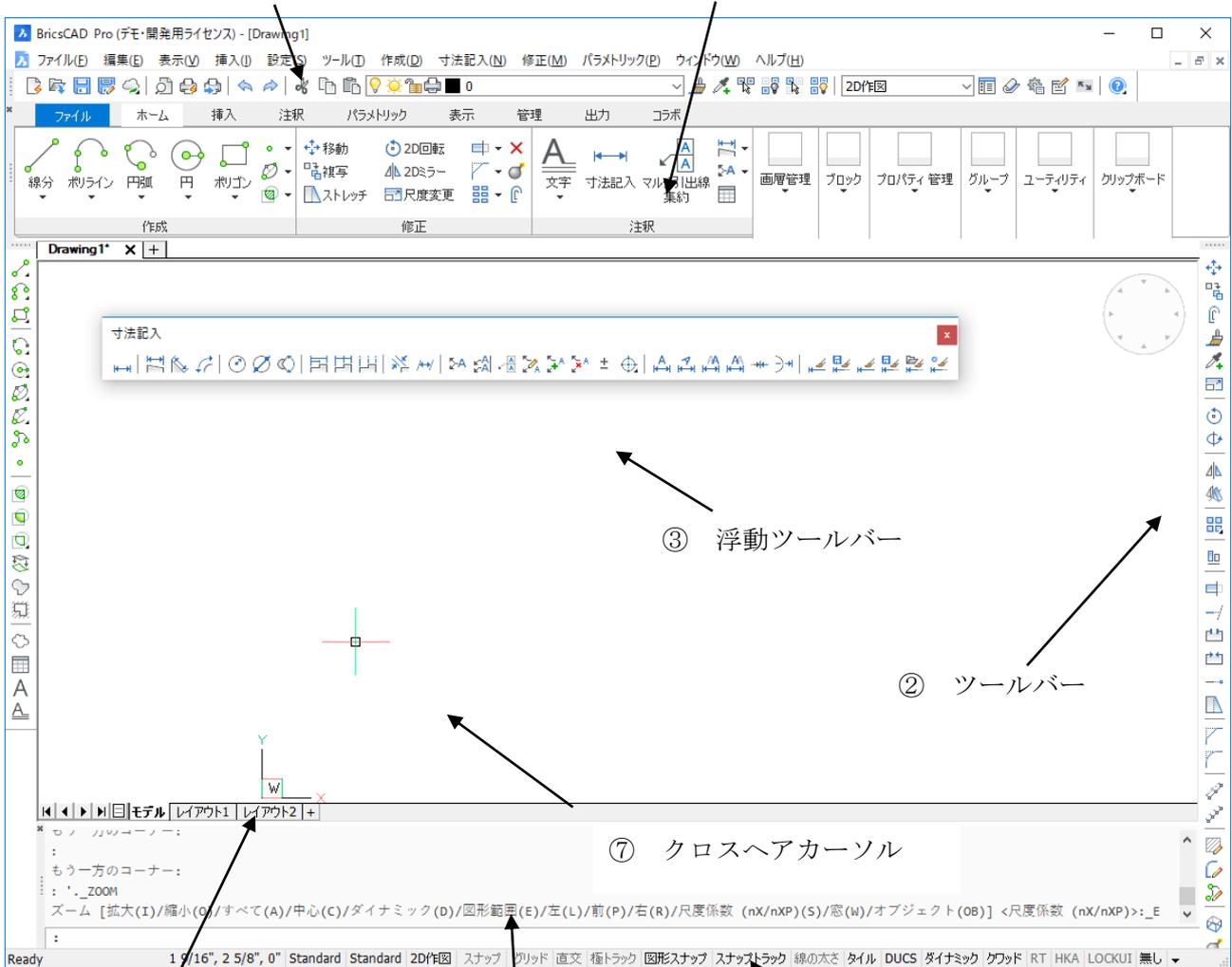
# 目 次

Bricscad の画面について	2
画面の背景色の設定方法	3
リボンバーの表示・非表示方法	4
自動保存の間隔設定方法	5
ファイル自動保存フォルダ（パス）変更方法	6
自動保存ファイルをDWGに変更する方法	7
図形選択時のボックスサイズを変更する方法	9
マウスの操作説明	9
図形スナップの設定方法	10
極スナップの設定方法	12
スナップトラック（AutoTRACK）の設定方法	13
テキストスクリーンの表示・非表示方法	14
ダイナミック入力の設定方法	14
コマンドバー・ステータスバー・スクロールバーについて	16
ファイルをドラッグ&ドロップする時の動作切替について	17
クラウド設定	18
画層の透過性設定	19

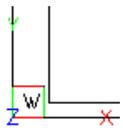
# Bricscadの画面について

① メニューバー

⑧ リボンバー



⑥ UCSアイコン



④ コマンドウィンドウ

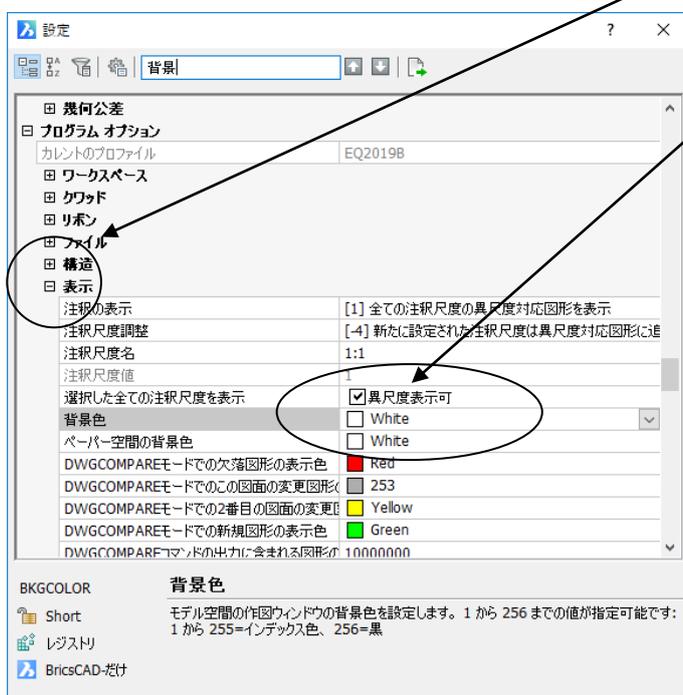
⑤ ステータスバー

⑨クワッド

- ① メニューバー . . . . . プルダウン方式でメニューが表示されます
- ② ツールバー . . . . . アイコンでメニューが表示されます
- ③ 浮動ツールバー . . . . . ツールバーが浮動の状態が表示されます
- ④ コマンドウィンドウ . . . . . コマンドが実行されメッセージが表示されます
- ⑤ ステータスバー . . . . . 直行モード、極トラック、スナップ、ダイナミック入力などのモードが表示されます
- ⑥ UCSアイコン . . . . . 図面の方向を表します。主に3次元データを作成するときに使用
- ⑦ クロスヘアカーソル . . . . . 図形を選択したり、位置を表示したりします
- ⑧ リボンバー . . . . . 一連のタブに整理され配置しているメニューです。
- ⑨ クワッド . . . . .

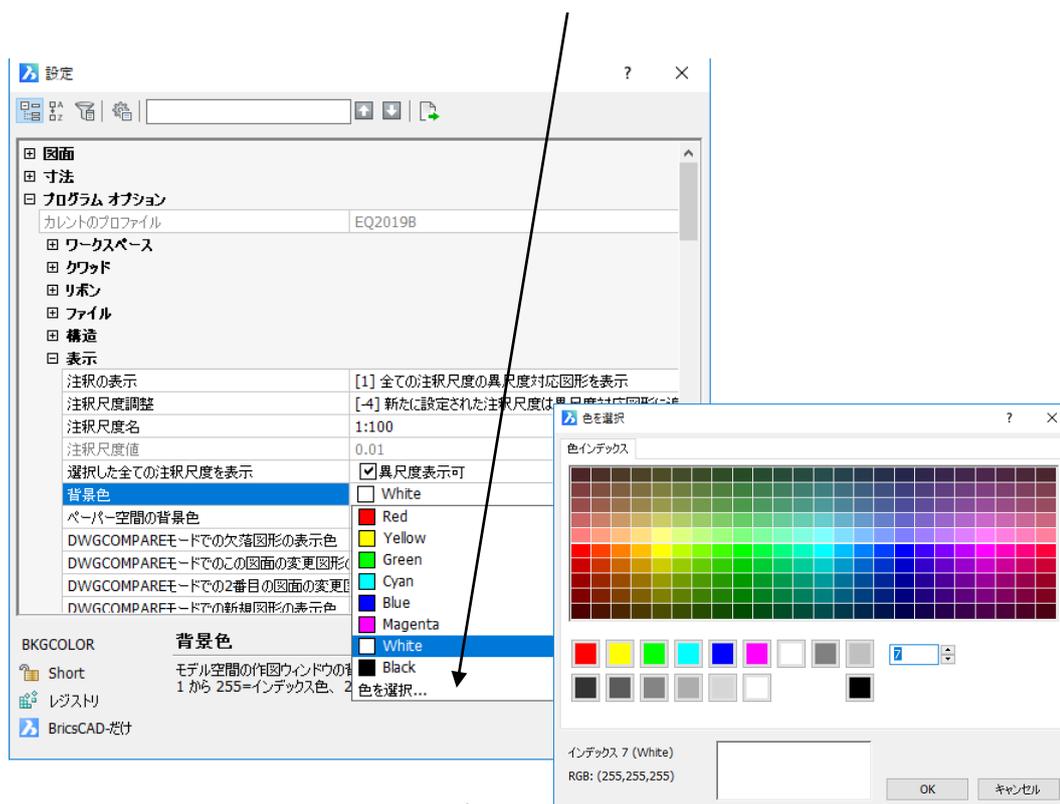
# 画面の背景色の設定方法

メニューバーの「設定」 - 「設定」 - 「プログラムオプション」 - 「表示」 - 「背景色」



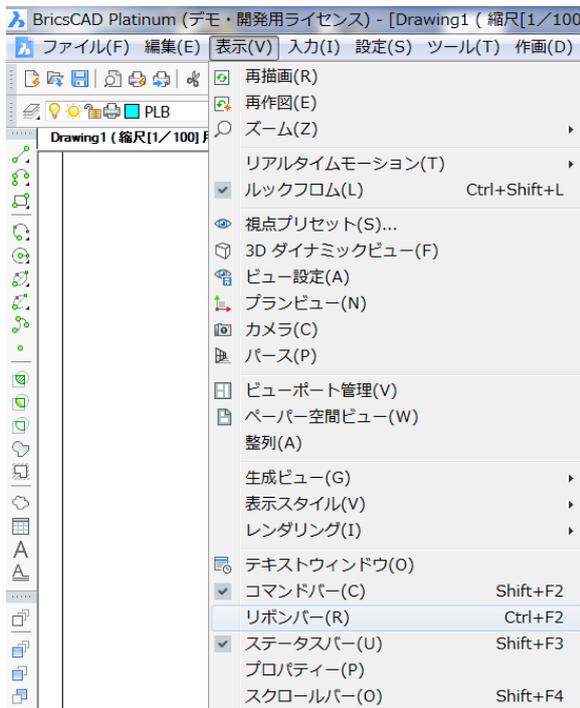
色をダブルクリックすると下図のように色を選択できます。

ドロップダウンリストの「色を選択」をクリックするとパレットが表示されます。



# リボンバーの表示・非表示方法

メニューバーの「表示」 - 「リボンバー」 に☑をつけますと表示されます。



## 共通部リボンバー



## 躯体リボンバー



## 電気リボンバー (電力)



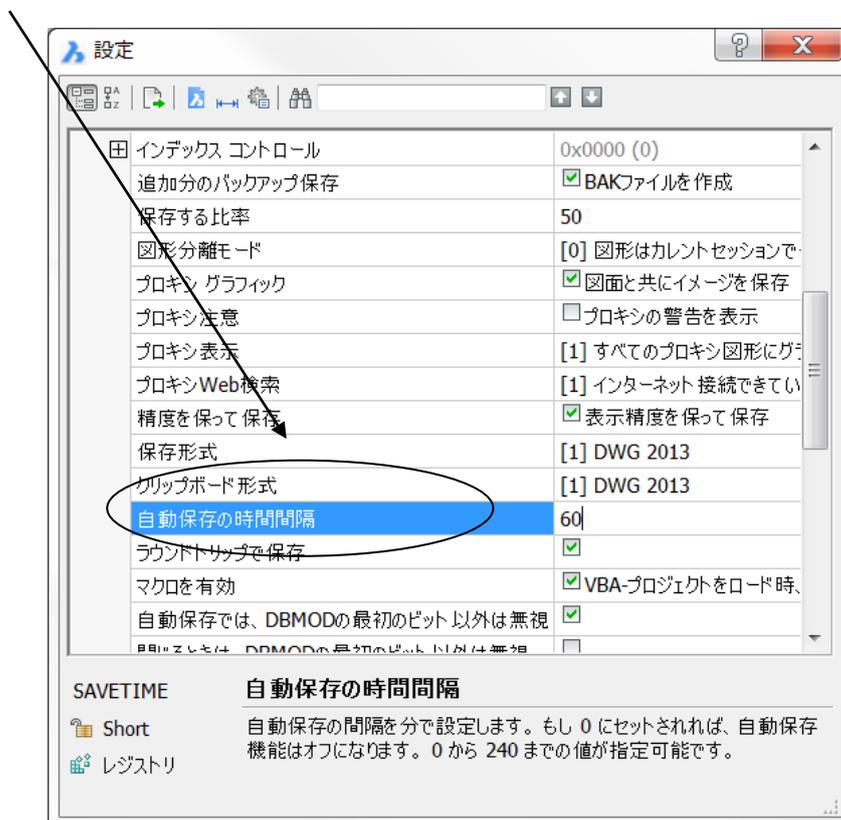
## 衛生ツールバー



# 自動保存の間隔設定方法(異常終了時の保存間隔)

メニューバーの「設定」－「設定」－「プログラムオプション」－「開く／保存」  
－ 「自動保存の時間間隔」をクリック

自動保存の時間間隔の項目に移動します。



この値を変更することによって自動保存の間隔を変更することが出来ます。

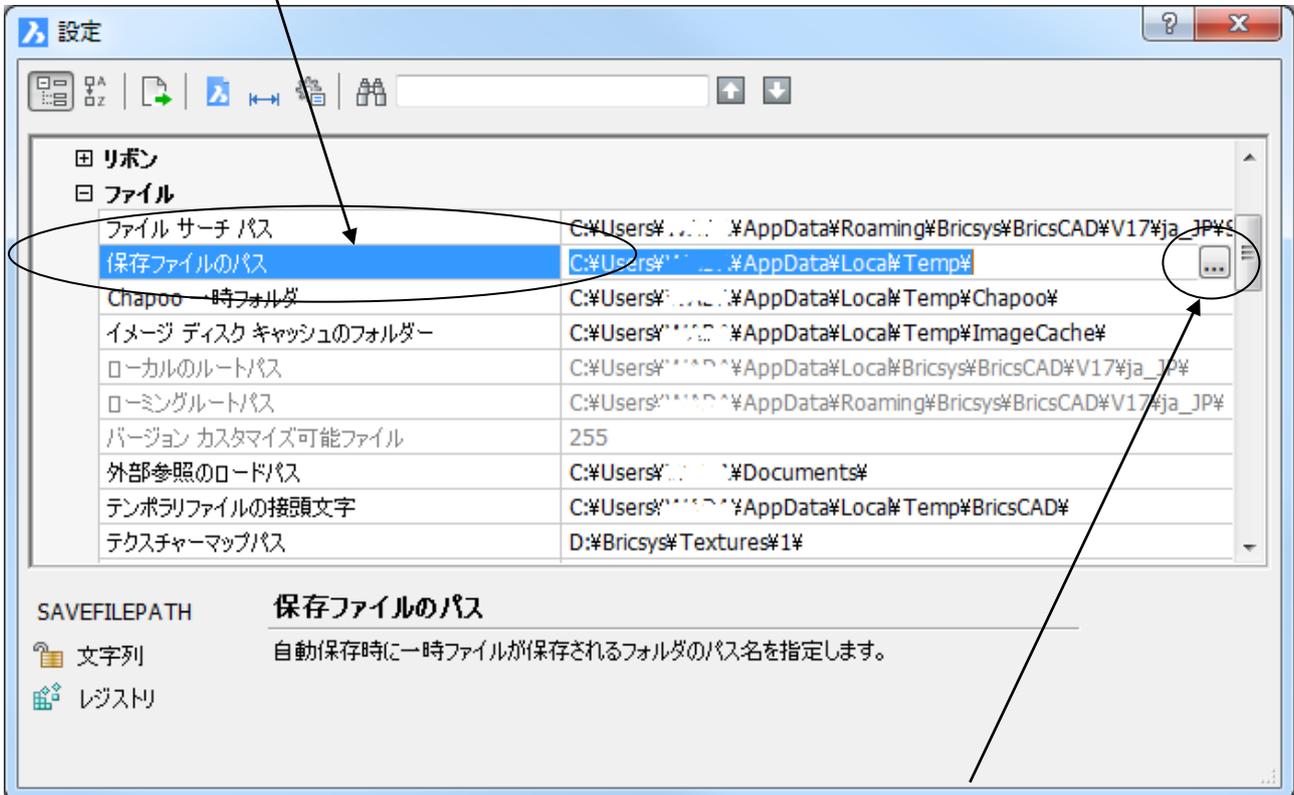
プログラムが異常終了した場合や落雷などにより電源が落ちた場合などに  
前回自動保存した状態まで図面データを復元することが出来ます。

初期値は60分です。(分単位で設定可能です。)

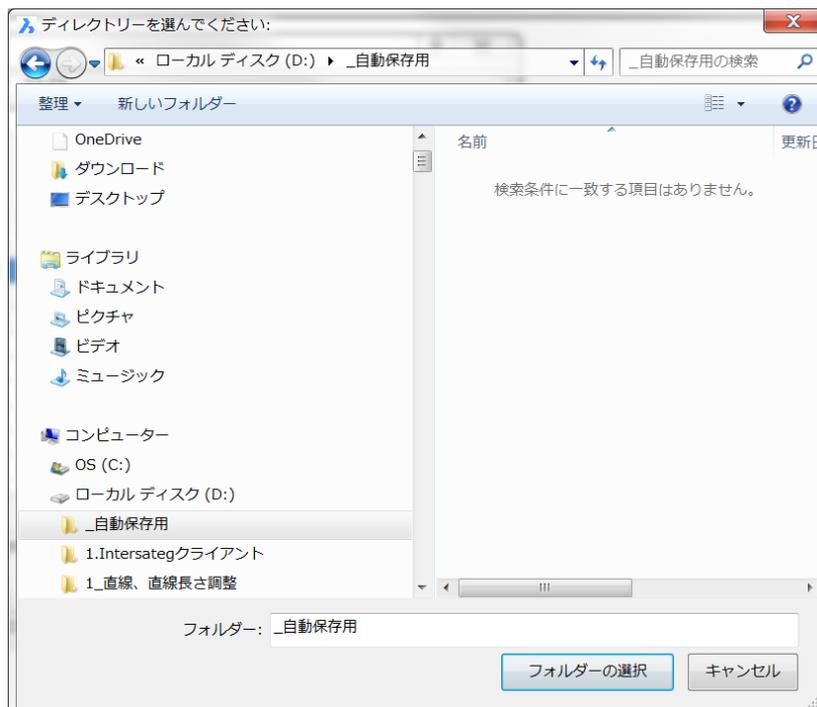
ファイルが保存される場所・自動保存ファイルの名前の変更方法は5～6頁を  
参照して下さい。

# ファイル自動保存フォルダ(パス)変更方法

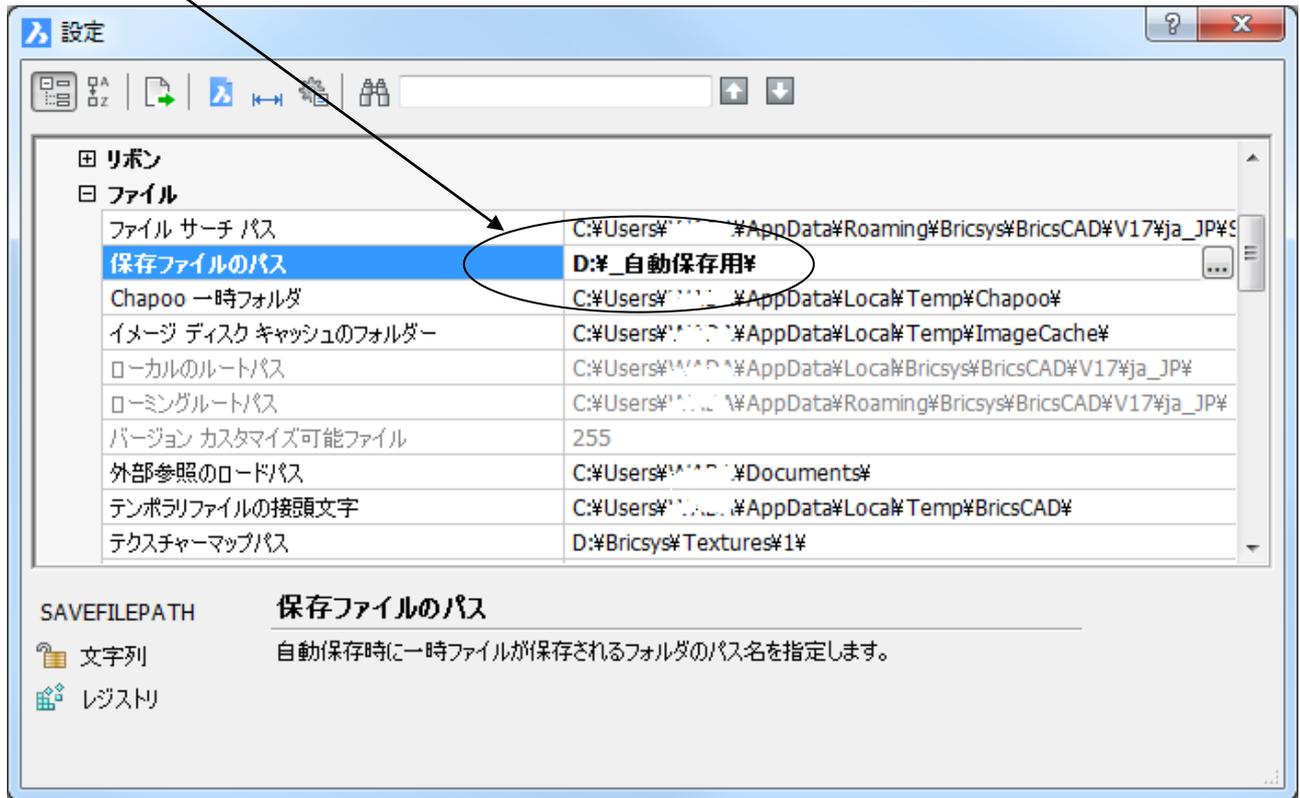
メニューバー - 「設定」 - 「設定」 - 「プログラムオプション」 - 「ファイル」  
「保存ファイルのパス」の項目をクリックして変更を行います。



※ デフォルトの保存フォルダの階層がかなり深くなっておりますのでパス設定をしておいて保存するフォルダを変更することをお勧めします。

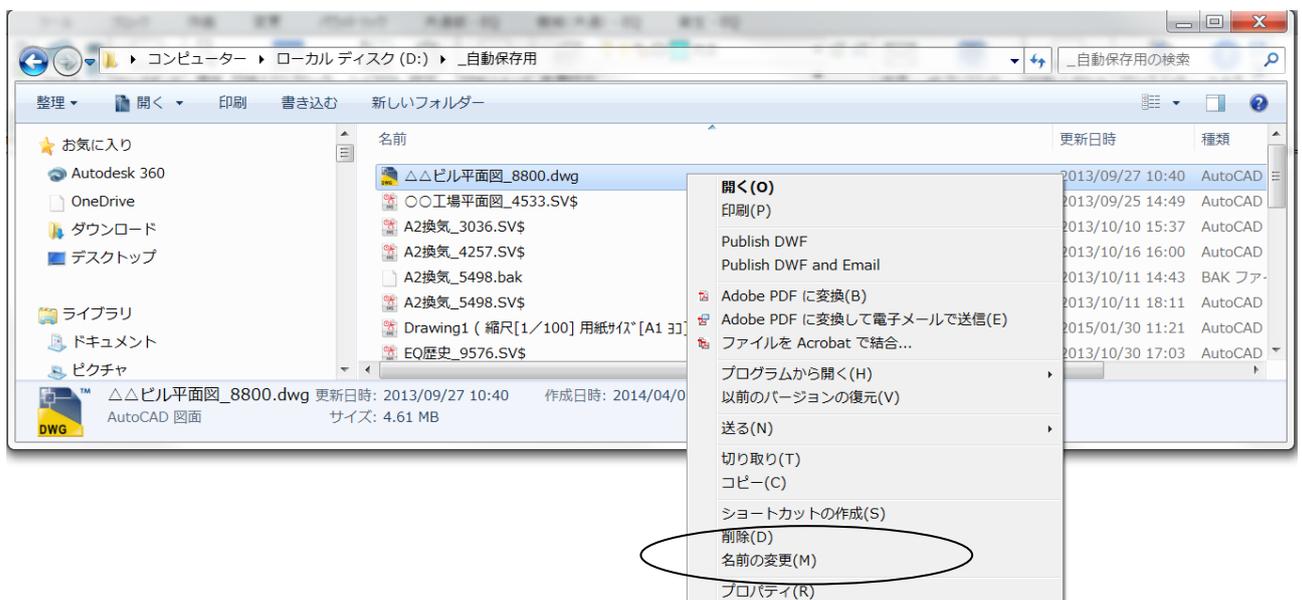


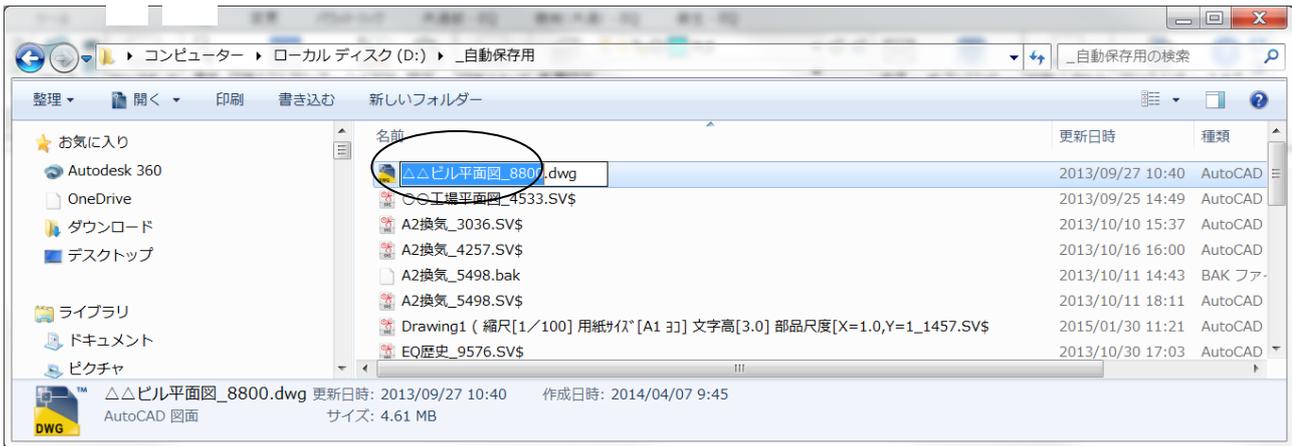
変更例：



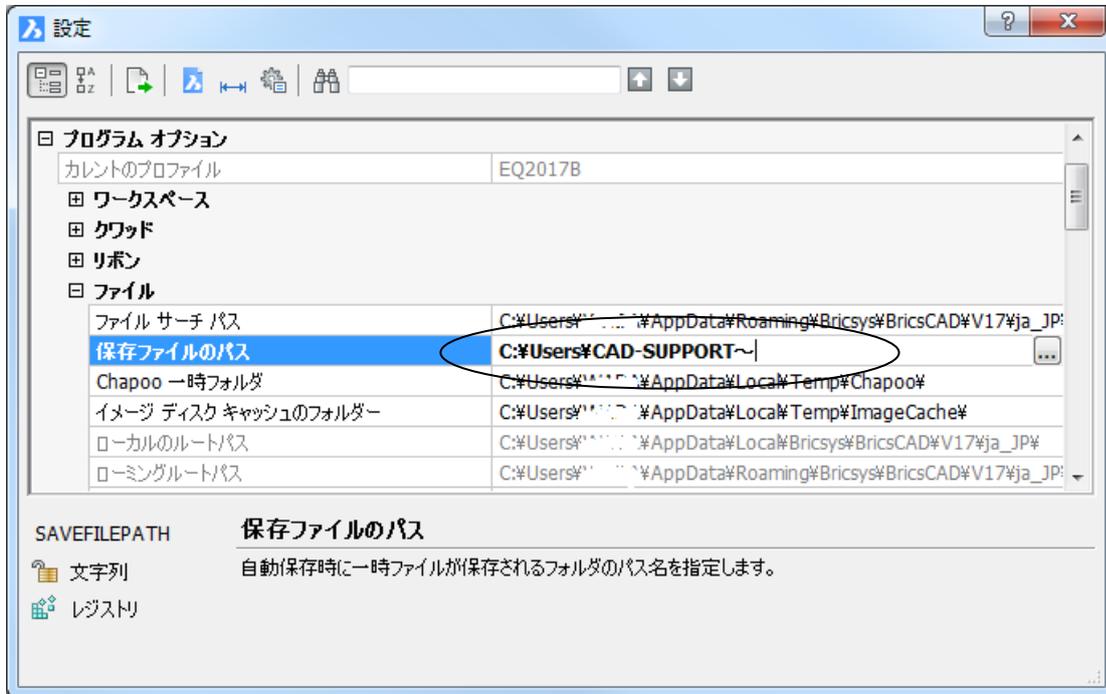
## 自動保存ファイルをDWGに変更する方法

プログラムが異常終了した場合は、ファイルの自動保存フォルダ変更で設定したフォルダ（5頁）に下記のように拡張子がSV\$のファイルが作成されます。（拡張子を表示する設定をして下さい）  
ファイル名と日時を確認後、名前と拡張子を dwg に変更して通常データとして開いて下さい。

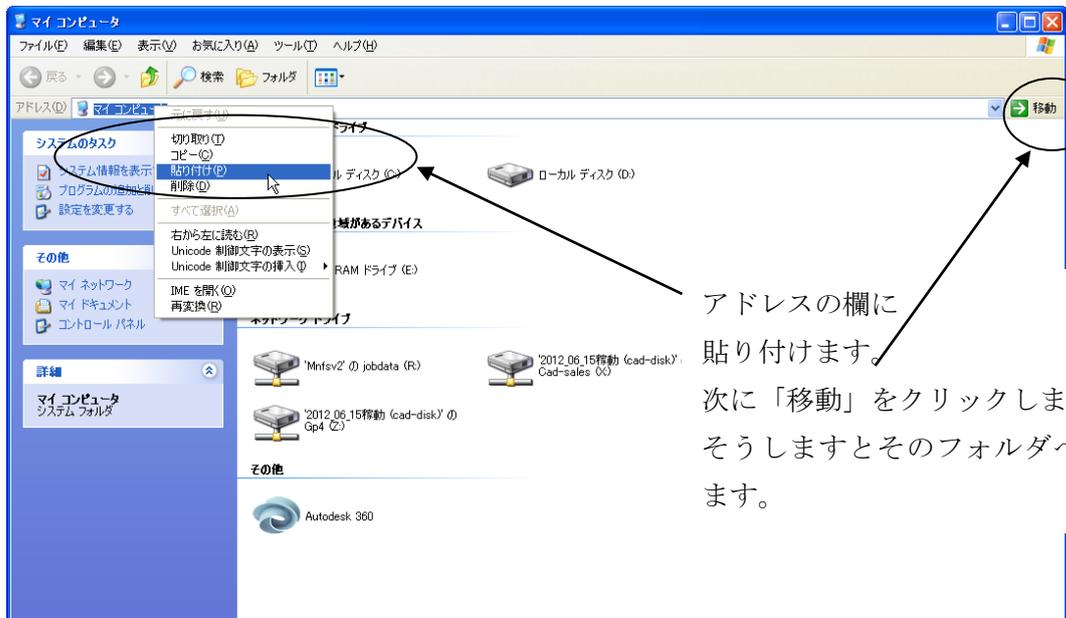




※ 下記のようにチルダ（～）が出てフォルダ名が良く判らない場合、下図のように選択してキーボードのCtrl キーとCのキーを同時に押してクリップボードにコピーします。



次に、マイコンピュータまたはエクスプローラーを起動します。



アドレスの欄に貼り付けます。  
次に「移動」をクリックします。  
そうしますとそのフォルダへ移動します。

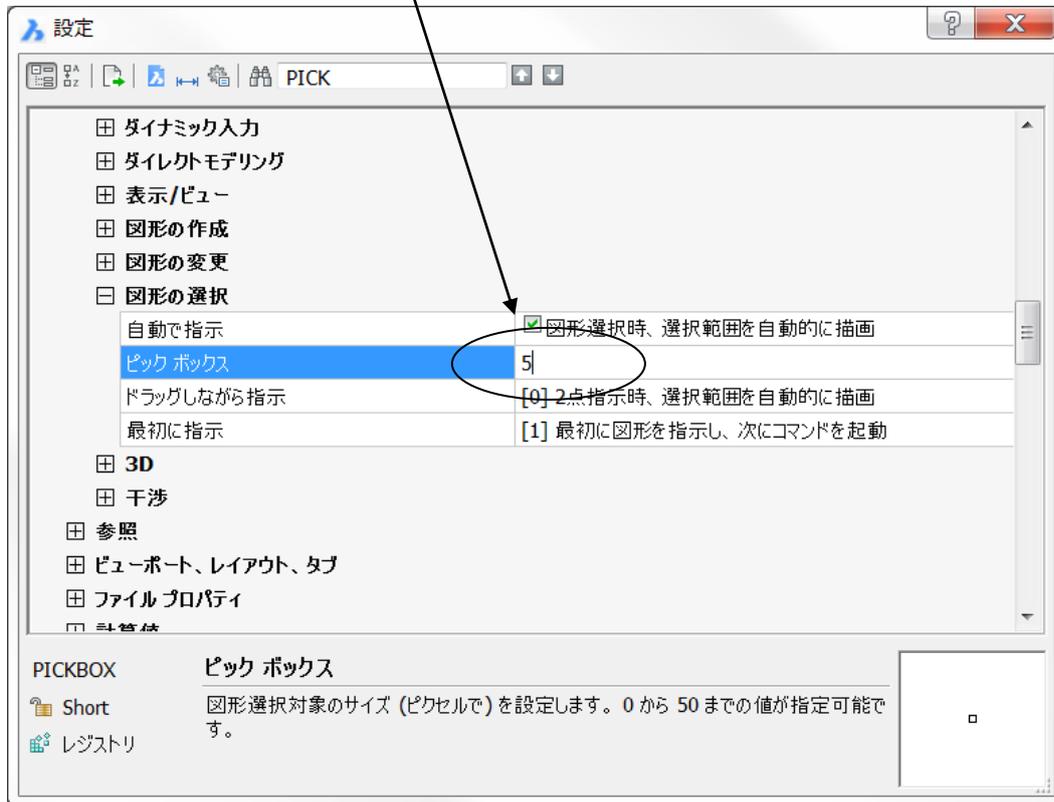
# 図形選択時のピックアップサイズを変更する方法

図形を選択する時に、検索範囲のピックアップのサイズを設定することが出来ます。

メニューバーの「設定」 - 「設定」 - 「プログラムオプション」 - 「選択」

- 「ピックアップ」の項目を選択してサイズを変更します。

※ サイズの調整は、プレビューに表示されます。

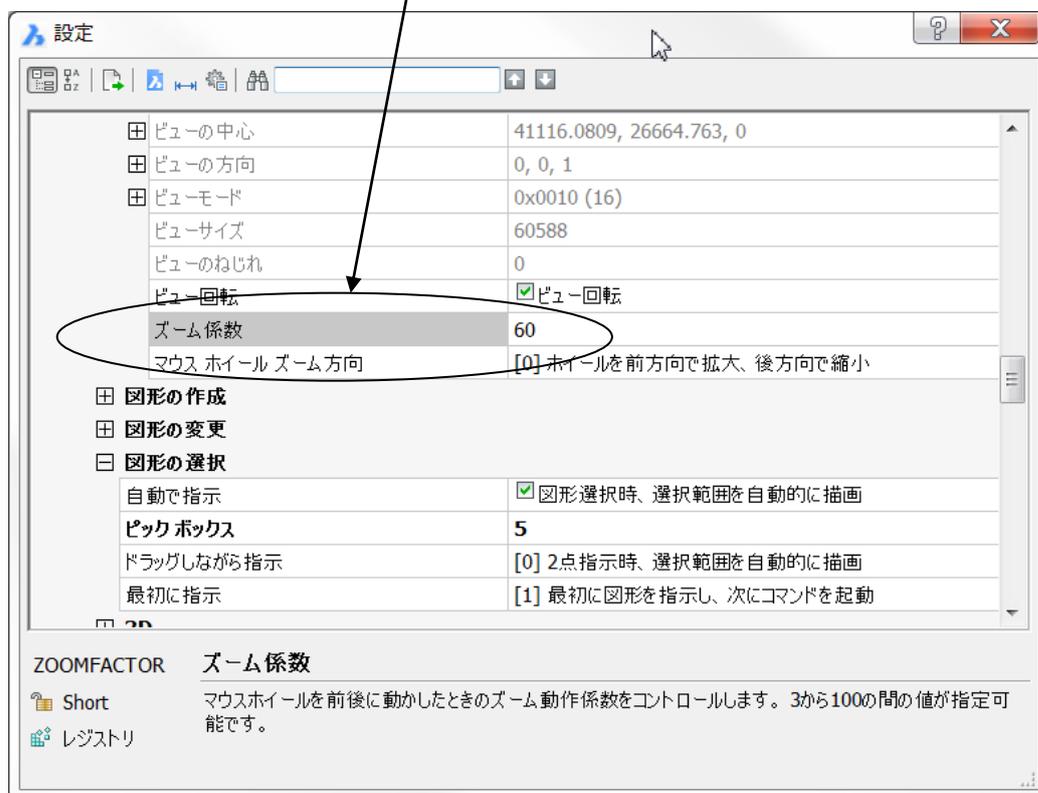


## マウスの操作説明

マウス/キー	操作	結果
マウスホイール	スクロール	拡大/縮小
ホイールボタン(**)	押しながらマウスを動かします。	リアルタイム画面移動
ホイールボタン(**)	ダブルクリック	図形範囲を表示
Ctrl + Shift + 左ボタン	押しながらマウスを動かします。	ズームイン/アウト
Ctrl + Shift + 右ボタン	押しながらマウスを動かします。	リアルタイム画面移動
Ctrl + 左ボタン	押しながらマウスを動かします。	リアルタイムに3D回転します
Ctrl + 右ボタン	押しながらマウスを動かします。	Z軸を基準に回転します

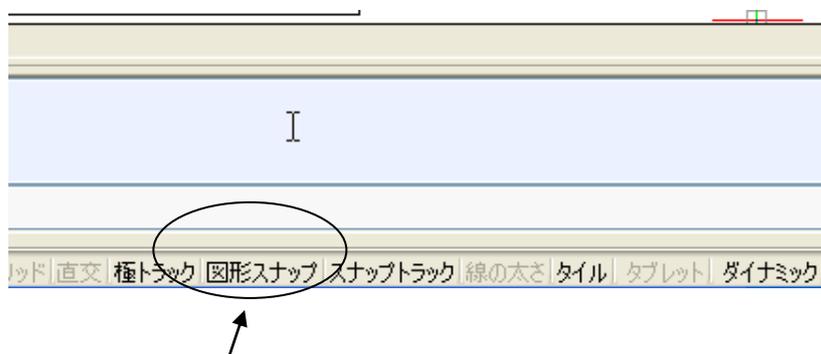
※ Bricscad ではマウスのカスタマイズは出来ません。但し、ホイールの速度の設定は可能です。

メニューバーの「設定」 - 「設定」 - 「図面」 - 「2D作図」 - 「表示/ビュー」  
 - 「ビューイング」 - 「ズーム係数」の項目を選択して数値を変更します。  
 デフォルトのサイズ=60 3~100の範囲で設定が可能です。

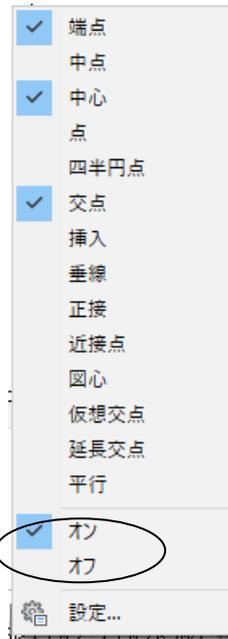


## 図形スナップの設定方法

図形スナップは、オブジェクトの正確な位置を指定するために使用します。  
 たとえば、円の中心や、線分の端点、中点などを指示することができます。

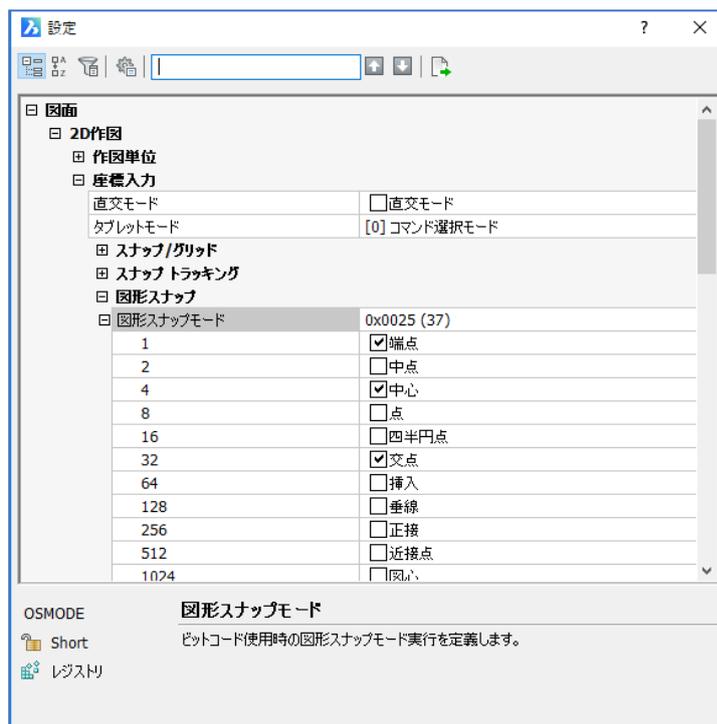


ステータスバーの「図形スナップ」でオン・オフまたは設定を行います。



カーソルを合わせて、マウスの右ボタンをクリックすると設定が表示されます。

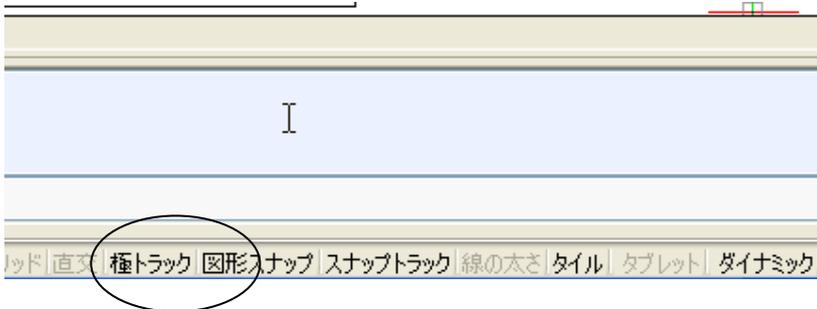
図形スナップ一覧が表示されますので、必要なスナップにチェックを付けます。  
詳しくは、オンラインヘルプを参照下さい。



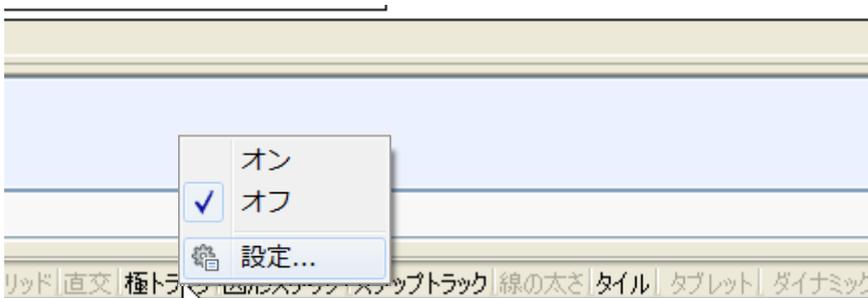
終了する場合、ダイアログボックスを閉じます。

# 極スナップの設定方法

極スナップは、任意の角度を設定して線分を作図したりすることができます。  
ステータスバーの「極トラック」をクリックしてオン・オフを行います。



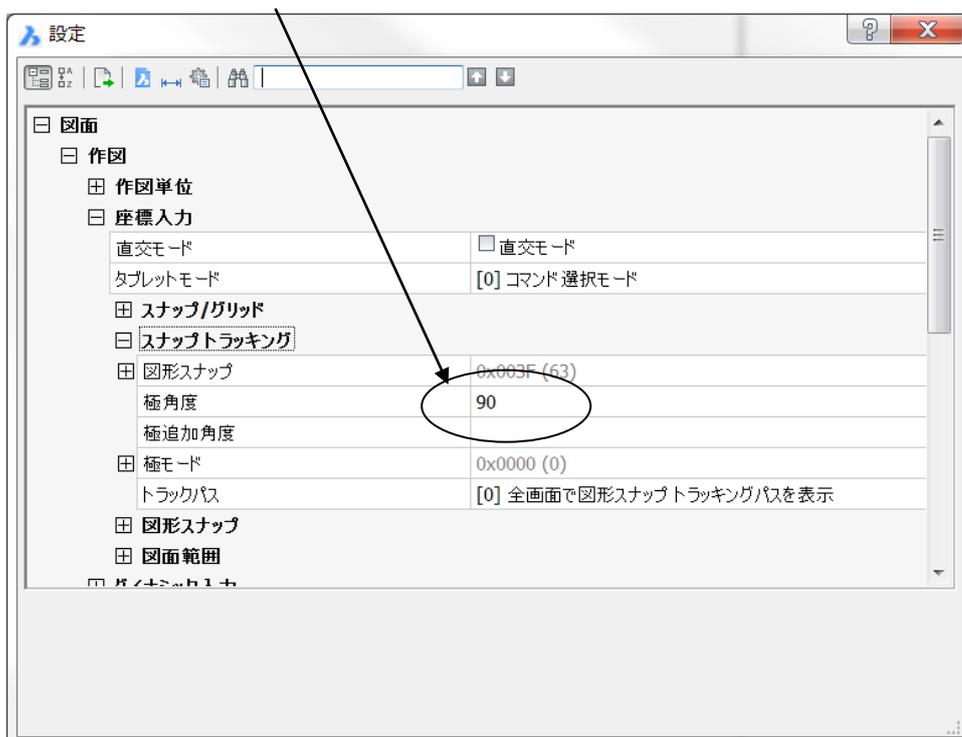
角度の設定は設定で行います。



極角度の項目には任意の値を入力することが可能です。

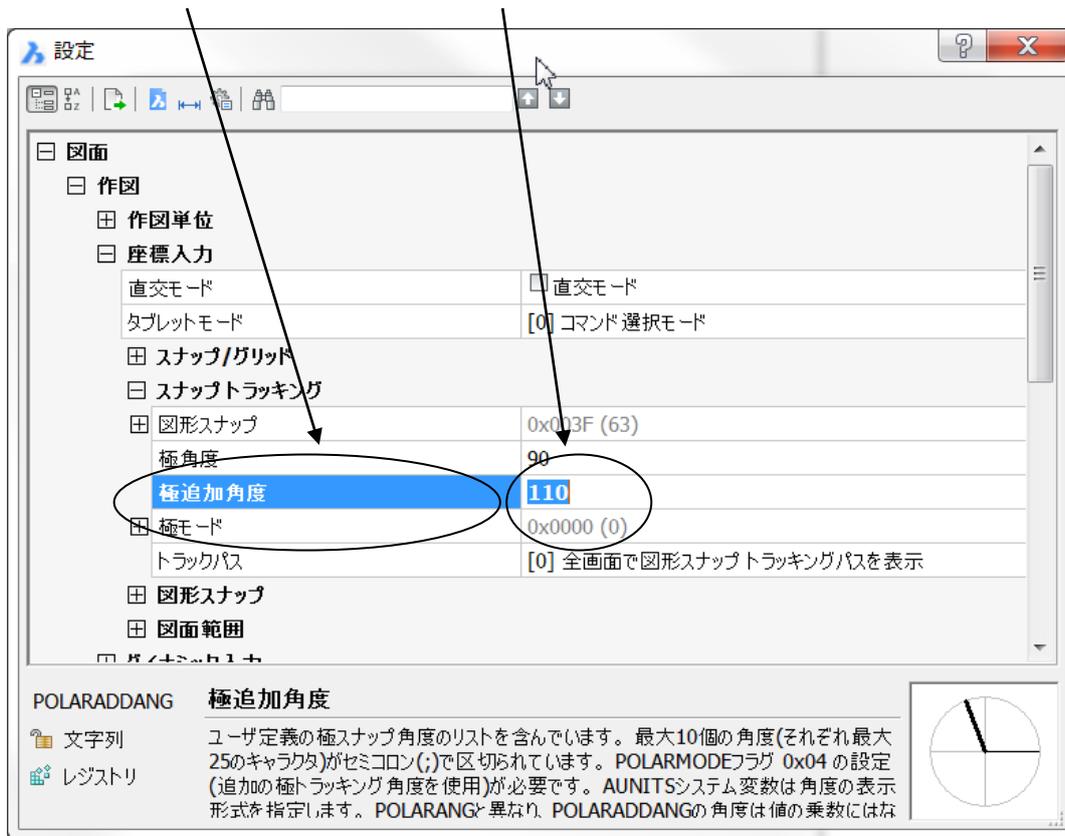
極角度には増分値の設定を行えます。

下図の例のように15と入力すると、15度、30度、45度…とトラッキングされます。



## 極追加角度

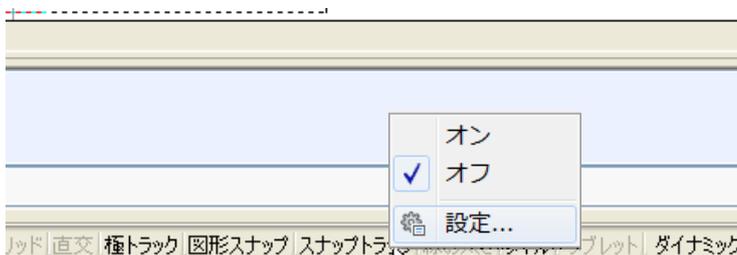
極追加角度は増分されません。入力した値のみトラッキングされます。



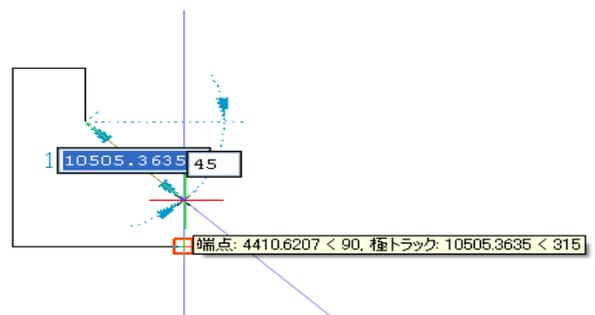
## スナップトラック(AutoTRACK)の設定方法

極トラックと図形スナップをオンにしてスナップトラックをオンにするとあらかじめ設定した角度の位置にカーソルが来ると、直前に指定した点から現在のカーソル位置の相対座標が表示されます。

最適な一時作図補助線を自動的に表示し正確に点を認識することが可能出来ます。



例：オブジェクトスナップ 端点 極トラック 45度に設定した場合  
最後に指示した点より、-45度下がった  
位置で端点より90度上がった位置を正確に  
認識することが可能です。



# テキストスクリーンの表示・非表示方法

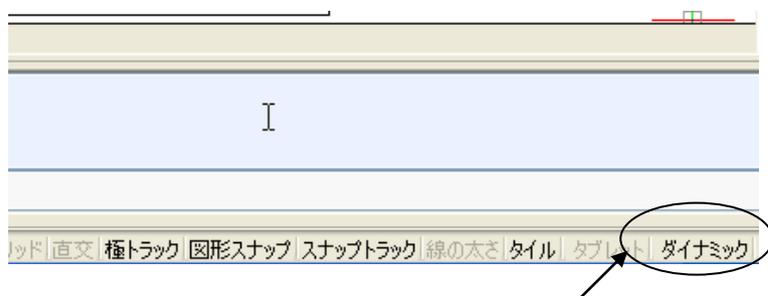
テキストスクリーンは、メッセージを確認したり、履歴を確認したり、さまざまな情報がテキストで表示されます。

F 2 キーを押すと、テキストスクリーンが表示されます。

もう一度 F 2 を押すか、「×」（閉じるボタン）で非表示になります。

# ダイナミック入力の設定方法

ダイナミック入力をオンにすると、作図画面に必要なメッセージが表示されコマンドプロンプト領域をその都度見なくても、作図が可能になります。

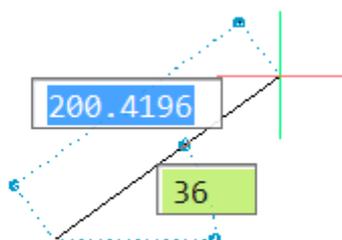


ステータスバーのダイナミックでダイナミック入力の設定を行います。  
マウスの右ボタンでオン・オフを行います。

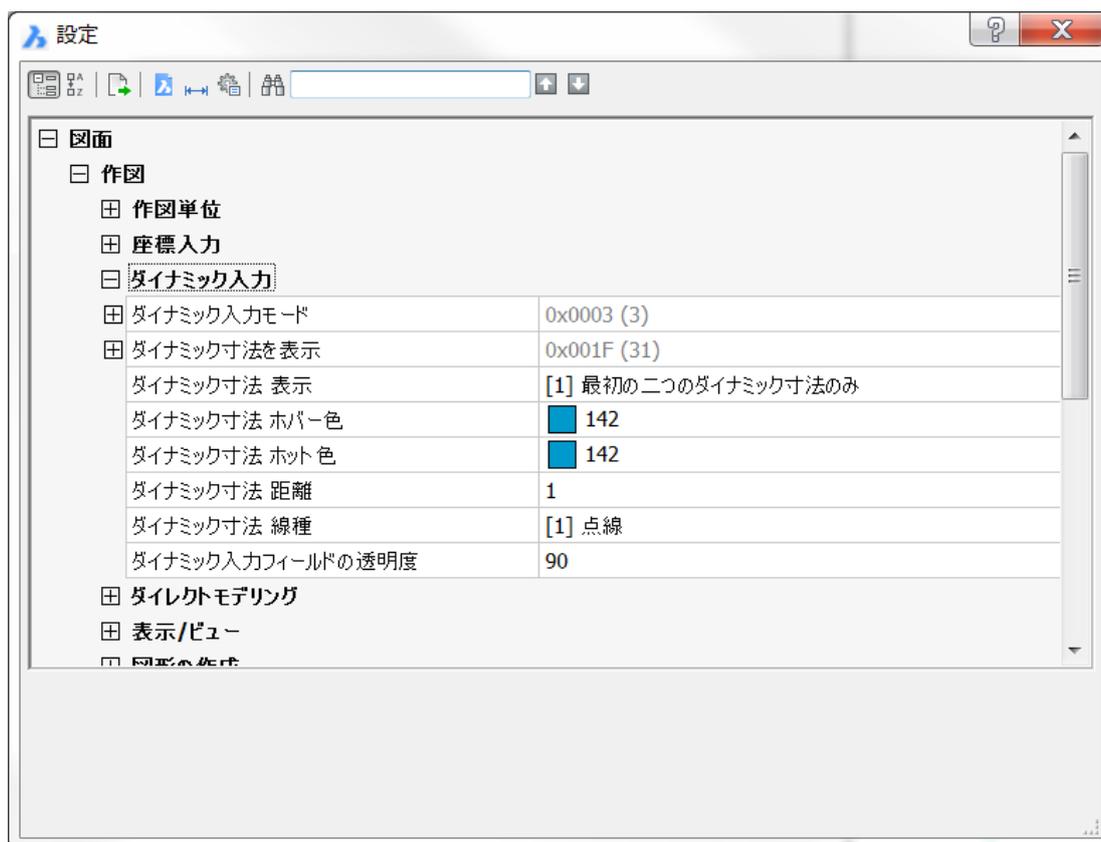


ダイナミック入力をオンにすると、線分を作図するコマンドを実行して始点を指示すると、下図のように線分の長さおよび角度を入力するボックスが表示されます。

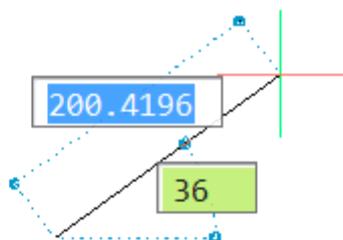
※



※ 設定をクリックしますとダイナミック入力の詳細設定が可能です。

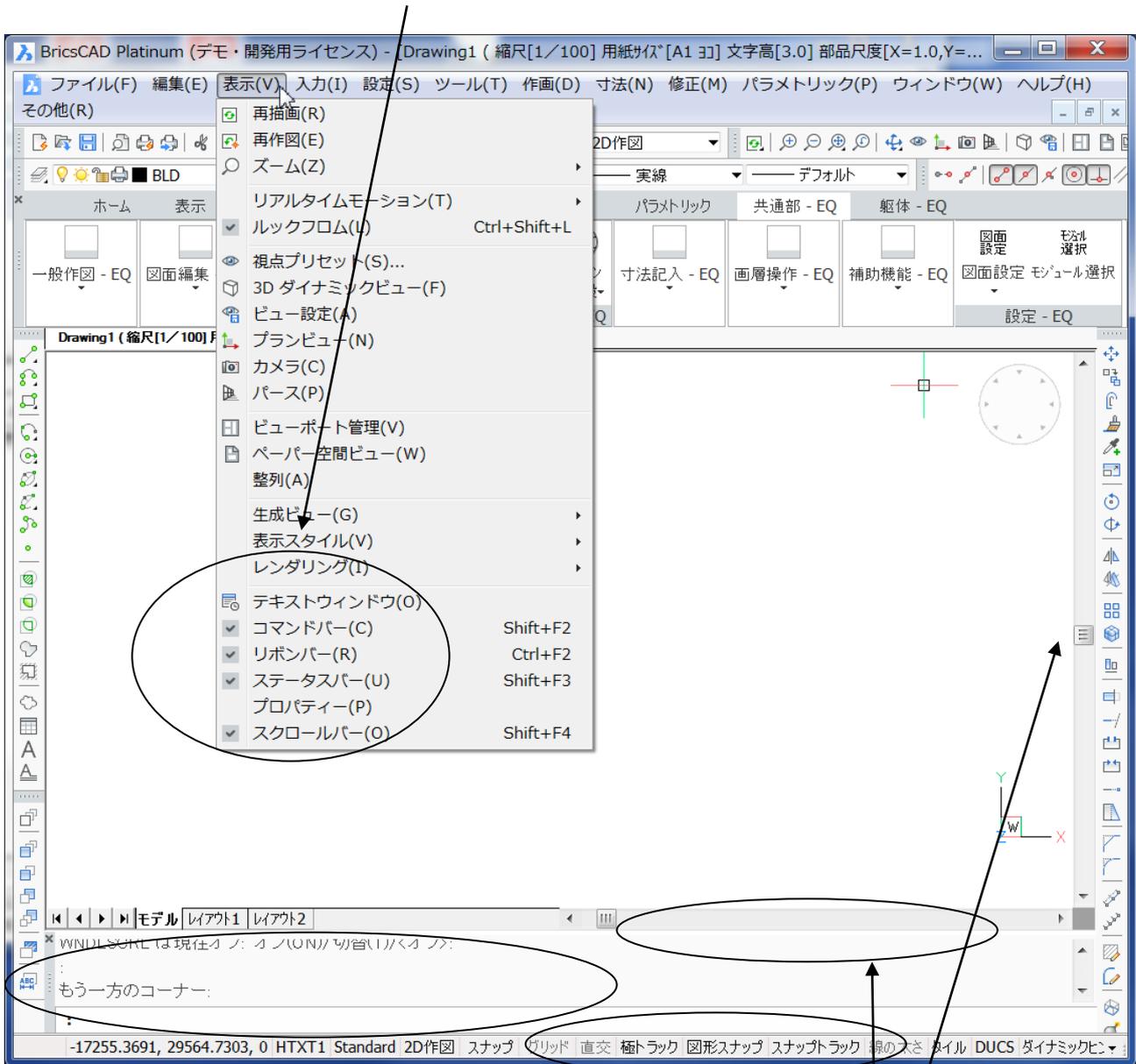


数値を入力してTABキーで角度へ移動します。角度入力後、Enterキーを入力します



# コマンドバー・ステータスバー・スクロールバーについて

コマンドバー・ステータスバー・スクロールバーの表示・非表示はメニューバーの「表示」にあります。チェックを付けるとオン外すとオフになります。



コマンドバー

ステータスバー

スクロールバー

※ コマンドバーは通常オンにして下さい。

コマンドバーをオフにしてしまうと、ダイナミック入力をオンにしない限りメッセージがステータスバーの右側にのみの表示となりますので注意して下さい。

(ダイナミック入力に関しては前ページを参照して下さい。)

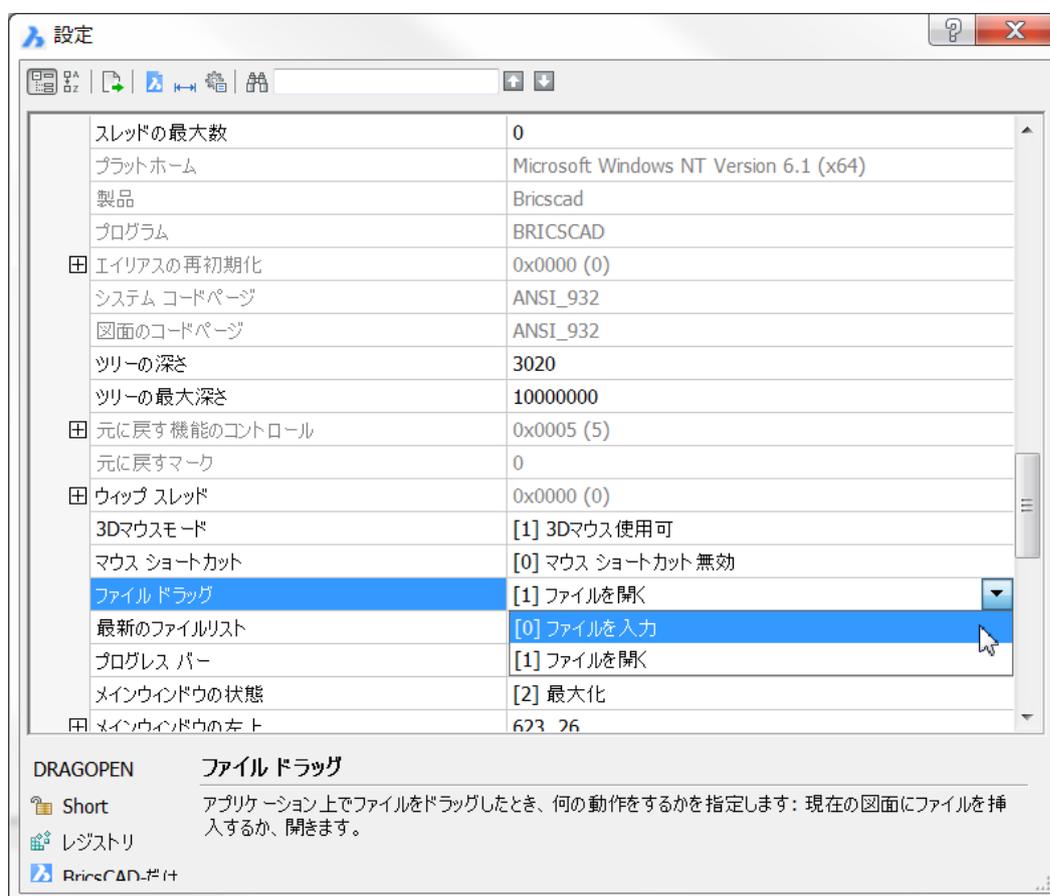
# ファイルをドラッグ&ドロップする時の動作切替について

エクスプローラーまたは、マイコンピュータから図面ファイルをドラッグ&ドロップした場合、現在の図面にファイルを挿入するか、開くかの動作が設定できます。

メニューバーの「設定」 → 「設定」 → 「プログラムオプション」 → 「システム」 → 「ウィップスプレッド」 → 「ファイル ドラッグ」の項目を選択して変更します。  
「ファイルを入力」するか「ファイルを開く」を選択します。

※ 「ファイルを入力」は、図形挿入になります。

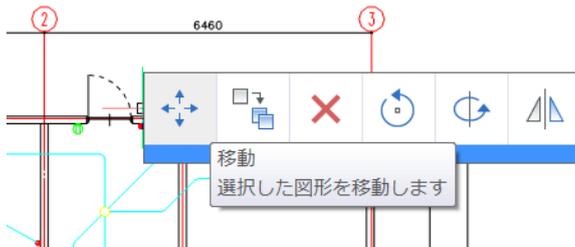
※ 検索で、「ファイル ドラッグ」と入力すると検索できます。



# クワッド設定

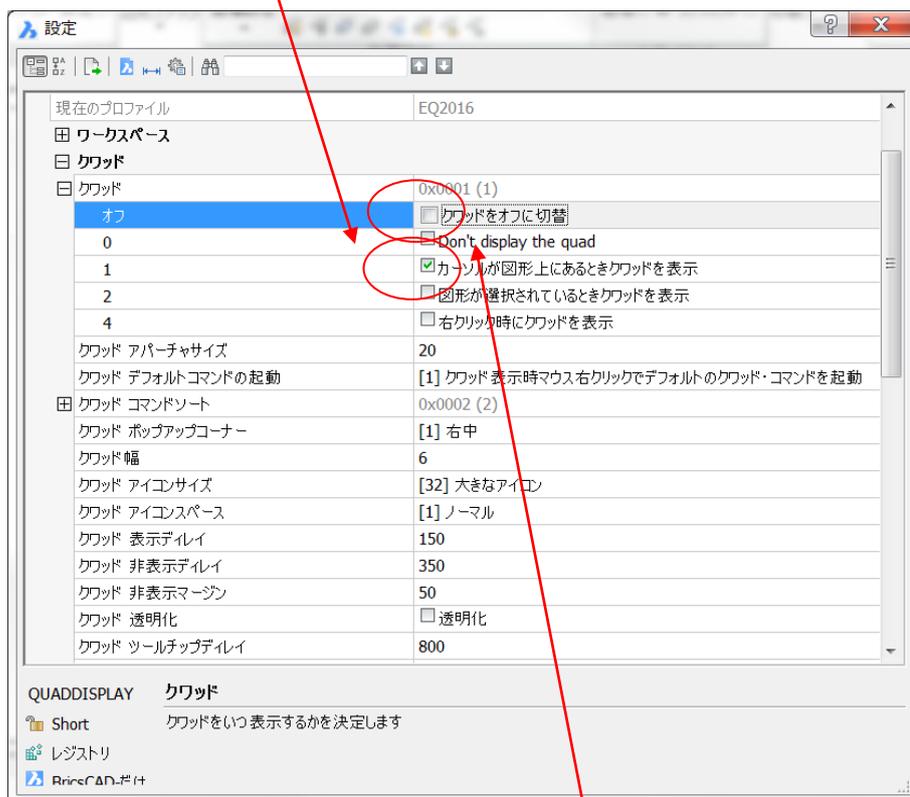
クワッドカーソルメニューは図形のグリップ編集に代わるもので、少ないクリック数で豊かな編集作業の提供をしています。

クワッド表示をオンにしていると以下のようなメニューが表示されます。



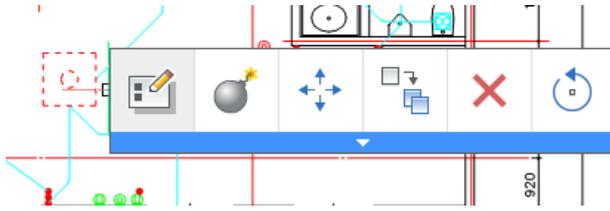
メニューバーの「設定」 → 「設定」 → 「プログラムオプション」 → 「クワッド」 → 「クワッド」の項目を選択して変更します。

デフォルトは「カーソルが図形上にあるときクワッド表示」です。



※ 以前のバージョンと同様な操作を行いたい場合「クワッドをオフに切替」に☑を付けて下さい。

オブジェクトのタイプに寄って表示されるメニューが変わります



## 画層の透過性設定

透過性プロパティは作成した透過性レベルをコントロール出来ます。

V15 までは選択した図形単位で透過性の設定が出来ましたが、V16 から画層単位で透過性の設定が可能です。

メニューバーの「ツール」 → 「図面エクスプローラー」 → 「画層設定」 → の項目を選択して変更します。



透明・・・1～90の値で設定可能（透明度パーセンテージ） 0＝不透明

※ 注意：透明（透過性）の設定後は再作図（REGEN）をしないと画面に反映されません。  
メニューバーの「表示」 → 「再作図」